

みんなで仲良く はなそう らんらんトーク！

第2回 実施報告書

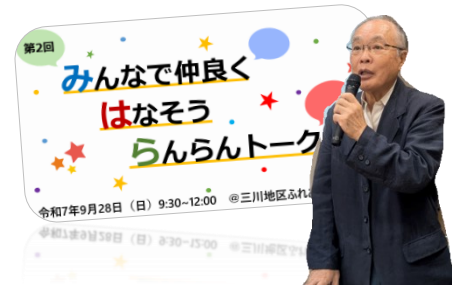
■日時 R7.9.28(日)9時30分～12時 ■場所 三川地区ふれあいセンター ■参加者数 26名

三原地区では、まちの未来を描いた「まちづくり計画」をつくるために必要なアイデアを集める場として、「みんなで仲良くはなそうらんらんトーク！」の2回目を9月28日(日)に開催しました！

地域の皆さんと一緒に三原地区のことについて語り合い、まちづくり計画が完成したら、計画を実現させるため、三原小学校区コミュニティ連絡協議会を設立して、「地域のまちづくり」を住民が協力して進めることを目指しています。

1 オープニング

はじめに、設立準備委員会 中西委員長から、「三原地区のまちづくり計画をつくるために、分野ごとの意見をたくさんお聞きしたい。」と挨拶がありました。



2 前回のらんらんトークで出た意見の確認

前回、令和7年9月28日に開催した第1回「みんなで仲良くはなそうらんらんトーク！」では、「三原小学校区に暮らしていて、感じることに話そう！」というテーマで話し合いました。そこで出たよい点や気になる点など多数の意見をまとめた意見集を見ながらみんなで確認しました。

3 グループに分かれて話し合い

6のグループに分かれて、「地域交流」、「福祉」、「防犯・防災」、「生活環境」の4つの分野の「将来像」、「問題点と課題」、「自分たちにできること」について話し合いを行い、話し合った内容を模造紙にまとめて発表しました。その一部を右のページでご紹介します。

地域
交流



福祉

防犯
防災



生活
環境

★参加者の意見★ ※意見は一部抜粋です。ここからすべての意見をご覧ください➡



分野	目指す将来像	問題点と課題	自分たちにできること
地域 交流	- 交通の便が良く、地域のみんなが交流できるまち！！ - 楽しみを通じ、世代間の交流を図り、地域の活性化につなげる	- 自治会・子ども会の加入率が低い - 自治会・子ども会に入っていない人との交流がない - 自治会活動のノウハウの伝承ができていない	- 日ごろから交流する場をつくる - 子ども会・自治会に入ってもら（メリット提示）
福祉	身近な地域の子どもから高齢者まで、顔見知りになり、仲良く交流ができるまち	- 各団体でイベント開催しているが、参加者が少なかったり、高齢者だけ、子供だけ、自治会加入者だけなど限定される - イベントの準備をする人、片付ける人がみんな高齢者	- 今までの行事を続けること - バーベキュー大会、デイキャンプなど、子どもから高齢者まで参加できる活動 - 横のつながりで規模をひろげたり、近くの団体同士でコラボ
防犯 防災	地域みんなが安心・安全なまち	【空き家】草木が生えて管理ができない、空き家の情報マップが無い 【がけ崩れ】イノシシが出やすい、斜面地が多い、大雨の時の不安	- 地域で連絡が取れるようグループLINEの作成 - 防災の啓発、体験イベントの実施 - 防災・空き家の情報マップの作成←井戸の管理
生活 環境	- 恵まれた自然を生かして、大人も子どもも住みやすいまち - 三原の良いところも悪いところも知ってもらう	- バス、店が少ない - 昔はホテルがいた - イノシシ出没 - 水はけ、草などが整備されていない	「蛭の会」の研修会（大学との連携など） - 通学路にイノシシの注意書き - 坂にイルミネーション - 今行っている活動や問題を知ってもらう（ポスティングなど）

5 ふりかえり

★最後に感想シートを書き、数名の方に発表していただきました。

6 クロージング

田副委員長より、「本日はいただいたご意見をもとに、自分たちにできることを考えながら、まちづくり計画を作っていきたい。また次回参加もよろしくお願いします」と閉会挨拶がありました。

